

事故の例：マンションの網戸が落下し、駐輪場の屋根に傷がついた

なぜ事故が起こったのか？

10階建マンションの8階に住んでいる主婦が、近くのスーパーで買い物後、自宅に戻り玄関の扉を開けたまま部屋に入ったところ、玄関から吹きぬけた風を受けたカーテンが、まるで「船の帆」のようになり、サッシ枠から網戸を押し出し、駐輪場に落下して屋根に傷がついた。

主婦の話では、以前より網戸がガタついており、また、事故発生時は、時々強風が吹いていたが、室内の換気をするため窓を開け、網戸を閉めてスーパーに出かけていたとのことであった。



事故にあわないためには！

風が強いときはドアやサッシの開閉に注意してください。他のドアやサッシが開いていると、風の通り道ができることにより室内を通過する風が突風となり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

【ご注意のポイント】

- ・室内に風の通り道ができないように注意してください。高層階は特に突風（強風）が吹きやすい環境になっています。
- ・強風時に窓やドアを開ける際は、室内を吹き抜ける風が突風にならないよう、ゆっくり行ってください。
- ・窓際のテレビ、置物などが風で飛ばされるおそれもありますので、ご注意ください。
- ・ご使用中にねじがゆるみ、はずれ止め部品がはずれることがあります。時々点検してください。
- ・はずれ止めのセット方法はメーカーおよび窓の種類によって異なりますので、それぞれのメーカーの該当する窓の表示ラベルまたは取扱説明書に従ってください。